

と も か き

時実家を離れて、アパートで学校時代の思い出は、当

た。それと何でもとと思いながらの毎日です。

三田高校を卒業して一年、四十五歳になりました。高校三年生を筆頭に、高校一年生と中学二年生の子供と妻一人です。同世代どこの家でも同じだと思いませんが、子供の学費と家のローンの為、毎日くたくたになつて働いています。

来年、上の子が大学受験



ともかきを拝読していると、先輩方のパワーに負けそうですが、私も頑張ります。

年度まで在籍されていた、松原智子先生(旧姓赤星)が同窓生から情報交換の手段として要望があり、個人的にご尽力され、青葉会のホームページを立ち上げてくださいました。皆さんのメール(記事・写真)での投稿をお願いしたいと

昭和四十五年度から五十四年度まで在籍されていた、

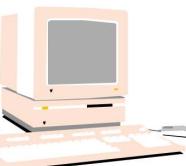
川上忠重(昭和三十年卒)

元副会長

現今は、同窓会の組織の存続そのものが難しい状況であり、役員会でも検討したことがありますが、現メンバーはインターネットに

以上、病気ひとつせず、何事にも前向きで元気に暮らしていましたが、最後の二年間は肺癌との辛い闘いでした。

結婚しましてから四十年



http://www.geocities.jp/mita_aobakai/

この度は「ともかき」をお送り下さいまして有難うございました。

前略

◆ ◆ ◆

といつことで、アドレスをご紹介しますのでよろしくお願い致します。

以下、奥様からのお便りを紹介いたします。心よりお冥福をお祈りいたします。

生前、皆様にはさぞかしお世話になつたことと存じます。

心から厚く御礼申し上げます。

主人は三田高校が自分の生きる目標と申しますか仕事の方向までも決めてくれた所だと申しております。きっと素晴らしい教育を受け、先生や友人にも恵まれて有意義で楽しい高校生活を過ごしたのでございましょう。

やり残したことがまだ沢山あり、無念な思いで旅立つたであろう主人の気持を考えますと皆様にはどうかくれぐれも健康に留意され、お元気でお過ごしいただきたくと心からお祈り申し上げます。

学校も閉校になるとのことで、寂しい限りでございますが皆様のお心の中にいつまでも生き続けることと存じます。同窓会、同期会などが、ずっと続きますよう祈念致しております。

しかし、時代は進んでいきます。いずれ皆さんご利用する時代になると思います。

手探しながらご協力いただける方に利用していただき、「形」を作つていただければ

たので、夕食がわりの給食を毎日楽しみにしていまし。それに錢湯代節約の為、た。それに錢湯代節約の為、た。

昭和60年卒

岸本 厚志

近況

で一人住まいをしていまして、アパートに帰つたことを覚えております。

昭和四十五年度から五十四年度まで在籍されていた、

川上忠重(昭和三十年卒)

元副会長

この度は「ともかき」をお送り下さいまして有難うございました。

前略

◆ ◆ ◆

といつことで、アドレスを紹介しますのでよろしくお願い致します。

生前、皆様にはさぞかしお世話になつたことと存じます。

心から厚く御礼申し上げます。

主人は三田高校が自分の生きる目標と申しますか仕事の方向までも決めてくれた所だと申しております。きっと素晴らしい教育を受け、先生や友人にも恵まれて有意義で楽しい高校生活を過ごしたのでございましょう。

やり残したことがまだ沢山あり、無念な思いで旅立つたであろう主人の気持を考えますと皆様にはどうかくれぐれも健康に留意され、お元気でお過ごしいただきたくと心からお祈り申し上げます。

学校も閉校になるとのことで、寂しい限りでございますが皆様のお心の中にいつまでも生き続けることと存じます。同窓会、同期会などが、ずっと続きますよう祈念致しております。

しかし、時代は進んでいきます。いずれ皆さんご利用する時代になると思います。

手探しながらご協力いただけける方に利用していただき、「形」を作つていただければ

たので、夕食がわりの給食を毎日楽しみにしていまし。それに錢湯代節約の為、た。

昭和60年卒

岸本 厚志

近況

三田高校を卒業して一年、四十五歳になりました。高校三年生を筆頭に、高校一年生と中学二年生の子供と妻一人です。同世代どこの家でも同じだと思いませんが、子供の学費と家のローンの為、毎日くたくたになつて働いています。

三田高校を卒業して一年、四十五歳になりました。高校三年生を筆頭に、高校一年生と中学二年生の子供と妻一人です。同世代どこの家でも同じだと思いませんが、子供の学費と家のローンの為、毎日くたくたになつて働いています。

来年、上の子が大学受験

なのですが、入学金や学費をどうするか、頭を悩ませているところです。まだまだ不況が続いております

が、私の職場でも昇給ストップになつてしまいましました。妻がパートで頑張ってくれています。子供達が就職するまでもう少し、何が何でもと思いながらの毎日です。

今思うと、何しに学校へ通っていたのかと思わないではないですが、それはそれで楽しい思い出になつています。

ともかきを拝読していると、先輩方のパワーに負けそうですが、私も頑張ります。

とモカキを拝読していると、先輩方のパワーに負けそうですが、私も頑張ります。

御連絡が遅くなりましたが、夫、川上忠重(昭和三十年卒)は、本年四月十七日に亡くなりました。

結婚しましてから四十年以上、病気ひとつせず、何事にも前向きで元気に暮らしていましたが、最後の二年間は肺癌との辛い闘いでした。

昭和三十年卒の川上さんが、平成十七年四月十七日にお亡くなりになつたとの計報が奥様より届きました。石田会長時代から副会長として青葉会の発展にご尽力されました。特に、総会の前段で講演をお願いいたしました。主人が三田高校卒業となりました。主人が三田高校卒業となりました。

川上忠重(昭和三十年卒)

元副会長

この度は「ともかき」を読ませていただき、主人が三田高校のことをいろいろと話してくださいました頃を懐かしく思っております。

北原先生(いつも安門先生と申しておりました)のお宅へ友達と一緒に遊びにお泊りなさいました。宿泊の時のこと、桐朋学園に移られてからお訪ねしたこと、石田会長や同期の方のお名前なども記憶に残つております。

平成十七年十一月四日 川上 恭子